

秋の叙勲

旭日双光章
国選定保存技術保持者

木原 明氏(下横田)

木原さんは日立金属安来工場に入社して、製鉄技術を学び昭和五十二年からたたら製鉄の道に入り、以来たたらに關する知識、技術の習得に努められ、昭和六十一年に玉鋼製造(たたら吹き)国選定保存技術保持者となり、たたら製鉄の総責任者である日刀保たたら村下職を務め国内唯一のたたら製鉄の保存・発展に大きく貢献されました。

また後継者育成、地元の学校や全国での指導、講演など幅広い活動を行い、たたら製鉄の継承にも努めておられます。



瑞宝単光章
雲州そろばん製造業
石原 長蔵氏(横田)

石原さんは昭和二十六年に町の伝統工芸である雲州そろばん製造業に従事し、独自の工夫を凝らした加工技法によ

り「雲州そろばん」の名を全国に広められ、地域の産業振興に多大の貢献をされました。

また昭和六十一年には、伝統工芸士(組立仕上部門)に認定され、その優れた技術、技法を伝えるための研修指導を積極的に行うなど後継者育成にも尽力されています。



元横田町消防団長
渡部 一夫氏(下横田)

渡部さんは昭和四十四年に旧横田町消防団に入団し、昭和六十年に八川分団長、平成五年に副団長、平成九年からは団長に就任され、三十五年余の永きにわたり地域消防の発展に尽瘁されました。

またその間、強い責任感と豊富な知識をもって団員の指導等に努められ、特に島根県消防操法大会では優勝五回、準優勝七回をはじめ入賞二十回の栄に輝くなど消防団の発展・強化にも多大の貢献をされました。



奥出雲町出品牛 グランドチャンピオンに輝く 島根県種畜共進会

JAGグループが主催する島根県種畜共進会が十月二十二日、松江市の島根中央家畜市場で開催されました。

今年の共進会には、来年鳥取県で全国和牛能力共進会が開催されることもあり、例年以上に磨き上げられた各市町村の肉用種牛、乳用種牛九十八頭が出品されました。

肉用種牛の部では、母・娘・孫娘の直系牛の組み合わせで改良成果を競う「母系牛群」で本町の児玉八重子さん、嵐谷千恵美さん、高橋幸雄さん



見事 グランドチャンピオンを獲得

出品牛の「よしざくら・はるざくら・こはる」組が最高賞のグランドチャンピオンに輝きました。

また、この母系牛群においては、全共第六区「高等登録

群」候補牛でもあり、県内五地区からの出品牛で競われた結果、奥出雲町と安来市の候補牛が選抜され、県最終選抜へと進むことが出来ました。

また、他の出品牛も多く上位入賞を果たし、仁多牛の名声を高めました。

成績は次の通りです。

平成十八年度島根県種畜共進会(十月二十二日)成績

肉用種牛の部		乳用種牛の部	
出品区	成績(序列)	出品区	成績(序列)
第1区	若成雄牛 一等賞 三席	第1区	若成雄牛 一等賞 三席
第2区	若成雄牛 二等賞 三席	第2区	若成雄牛 一等賞 三席
第3区	若成雄牛 三等賞 三席	第3区	若成雄牛 一等賞 三席
第4区	若成雄牛 一等賞 五席	第4区	若成雄牛 一等賞 五席
第5区	若成雄牛 一等賞 十席	第5区	若成雄牛 一等賞 十席
第6区	若成雄牛 一等賞 十四席	第6区	若成雄牛 一等賞 十四席
第7区	若成雄牛 二等賞 首席	第7区	若成雄牛 二等賞 首席
第8区	若成雄牛 二等賞 首席	第8区	若成雄牛 二等賞 首席
第9区	若成雄牛 二等賞 首席	第9区	若成雄牛 二等賞 首席
第10区	若成雄牛 二等賞 首席	第10区	若成雄牛 二等賞 首席
第11区	若成雄牛 二等賞 首席	第11区	若成雄牛 二等賞 首席
第12区	若成雄牛 二等賞 首席	第12区	若成雄牛 二等賞 首席
第13区	若成雄牛 二等賞 首席	第13区	若成雄牛 二等賞 首席
第14区	若成雄牛 二等賞 首席	第14区	若成雄牛 二等賞 首席
第15区	若成雄牛 二等賞 首席	第15区	若成雄牛 二等賞 首席
第16区	若成雄牛 二等賞 首席	第16区	若成雄牛 二等賞 首席
第17区	若成雄牛 二等賞 首席	第17区	若成雄牛 二等賞 首席
第18区	若成雄牛 二等賞 首席	第18区	若成雄牛 二等賞 首席
第19区	若成雄牛 二等賞 首席	第19区	若成雄牛 二等賞 首席
第20区	若成雄牛 二等賞 首席	第20区	若成雄牛 二等賞 首席

グランドチャンピオン		グランドチャンピオン	
出品区	成績(序列)	出品区	成績(序列)
第1区	未経産牛A 一等賞 次席	第1区	未経産牛A 申請中
第2区	未経産牛B 一等賞 三席	第2区	未経産牛B 申請中
第3区	未経産牛B 二等賞 三席	第3区	未経産牛B 申請中
第4区	経産牛A 一等賞 五席	第4区	経産牛A 申請中
第5区	経産牛A 一等賞 五席	第5区	経産牛A 申請中
第6区	経産牛A 一等賞 五席	第6区	経産牛A 申請中
第7区	経産牛A 一等賞 五席	第7区	経産牛A 申請中
第8区	経産牛A 一等賞 五席	第8区	経産牛A 申請中
第9区	経産牛A 一等賞 五席	第9区	経産牛A 申請中
第10区	経産牛A 一等賞 五席	第10区	経産牛A 申請中
第11区	経産牛A 一等賞 五席	第11区	経産牛A 申請中
第12区	経産牛A 一等賞 五席	第12区	経産牛A 申請中
第13区	経産牛A 一等賞 五席	第13区	経産牛A 申請中
第14区	経産牛A 一等賞 五席	第14区	経産牛A 申請中
第15区	経産牛A 一等賞 五席	第15区	経産牛A 申請中
第16区	経産牛A 一等賞 五席	第16区	経産牛A 申請中
第17区	経産牛A 一等賞 五席	第17区	経産牛A 申請中
第18区	経産牛A 一等賞 五席	第18区	経産牛A 申請中
第19区	経産牛A 一等賞 五席	第19区	経産牛A 申請中
第20区	経産牛A 一等賞 五席	第20区	経産牛A 申請中

犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間メッセージ伝達式

島根県では今年7月に「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を定め、10月11日から20日までを「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」とし、地域をあげて防犯意識の高揚を図ることとしています。

旬間初日の10月11日には、雲南警察署の小川署長、少年補導員、地域安全推進委員の皆さんが役場を訪れ、岩田町長にメッセージを伝達しました。町長からは「このメッセージを受け、本町も犯罪のない安心なまちづくりの取り組みを一層進めていきます」と挨拶がありました。

今後、自主防災意識を持って安全・安心な町を目指していきましょう。



「斐伊川水系水源の森事業」5周年を祝う 松江市・奥出雲町住民交流会



▲5周年を祝い参加者で記念撮影

斐伊川水系水源の森づくり森林整備協定締結の五周年を祝う松江市・奥出雲町住民交流会が十一月三日、八川地区の町行分収造林地「唐木」で開催されました。

この事業は、森林の造成、整備を行うことにより、水源のかん養及び国土保全能力を高め水資源の確保、水質の保全を図ろうと斐伊川上流域の旧仁多町、旧横田町と下流域の松江市とが平成十三年度から今後五十年にわたる「森林整備協定」を締結し、以来森林の整備を一体となつて進め、昨年度までに三十ヘクタールの森林が整備されました。

式典には地元自治会、宍道湖漁協の組合員など約百七十人が出席しました。

主催者を代表し岩田町長、松江市の能海産業経済部長等が挨拶、来賓を代表して松尾副知事が祝辞を述べた後、参加者全員で保水力の高い広葉樹の桜、栗、ミズナラ、ケヤキの苗木を記念植樹し協定締結五周年を祝いました。

また森林組合の協力で、出席者が見守るなか、伐倒実演も行われました。

今回、皆さんが心を込めて植樹された木々は、将来、立派な森になることでしょう。

奥出雲の秋を満喫

2006奥出雲ふれあいサイクリング

秋を感じながら奥出雲路を自転車で走る「奥出雲ふれあいサイクリング」が十月二十九日、開催されました。

今年、兵庫県、広島県など全国から三百十三人が参加し、本町を代表する観光地「可部屋集成館」、「鬼の舌震」を巡る三十五キロのコースで行われました。

り上がりました。県外の参加者からは「都会にない自然が楽しめ、参加し



▲一斉にスタートする参加者。奥出雲の秋を満喫しました

折り返し地点の可部屋集成館では、名物のジャンボおにぎりとサーピスの豚汁が振舞われ、参加者からは大好評でした。

また全員がゴールした後は、奥出雲の特産品が当たる大抽選会も行われ、大いに盛

てよかった」、「大きな仁多米のおにぎりにびっくりしました。サイクリングコースもちょうどいいし、また来ます」など感想が聞かれました。